

Message memo

- ◇タイトル 『苦しみから生まれるもの～忍耐～』
- ◇聖書箇所 ローマ5章1節～5節
- ◇メッセージ 西村希望師
- ◇中心聖句 ローマ5章3節
そればかりではなく、患難さえも喜んでいきます。それは、患難が忍耐を生み出し、

攻 WE WILL GO

そのとき、カレブがモーゼの前で、民を静めて言った。「私たちはぜひとも、上って行って、そこを占領しよう。必ずそれができるから。」（民数記13:30）

Vol.36-16
2020.4.19

Jesus Family 先週の活動

◆ぶっとびオンラインキッズ配信スタート！

毎週土曜日午後2時からのキッズプログラムが動画配信にて帰って来ました！
ライブ動画配信時間は毎週土曜日、午後2時～2時20分です。是非応援して下さい♪



ぶっとびキッズといえば『賛美』！



楽しいキャラクターとゲームタイム♪



ストレッチ&体操タイムで運動不足解消をお手伝い



聖書から励ましのメッセージ★

<Vision> 聖書を土台に若者を育て、世界にリーダーを送り出す教会

ビジョンセンター 東京都町田市三輪町 392 TEL:044-385-2964 URL:www.jesusfamily.jp E-mail: info@jesusfamily.jp

みどり野キリスト教会 すずき野チャペル 横浜市青葉区すずき野 2-6-16 TEL 045-902-7898

今こそ祈る時！ ～お祈りの課題～



民よ、どんな時にも神に信頼せよ。あなたがたの心を
神の御前に注ぎだせ。神はわれらの避け所である。
(詩編 62 篇 8 節)



●コロナウイルスの広がりに対して

- ・世界が神を見上げ、神に祈りの手をあげ、神を知るようになる。
- ・世界が悔い改めを持って主の前にへりくだることができるように。
- ・コロナウイルスができるだけ早く、完全に収束するように。
- ・医療の現場で戦っている医者、看護師、スタッフの守りと支え。
(医療崩壊から守られるように。)
- ・リーダー達が正しい判断・決断をすることができるように。
- ・早い段階の緊急事態宣言の実行、都市の隔離がなされるように。
- ・教会の家族、関係者が守られるように。感染者とならないように。
- ・私たち一人一人が、教会として生きることができるように。
- ・神の愛を届ける知恵が与えられ、実行できるように。

●教会の祈り

- ・JESUS FAMILY (教会) が守られ、この様な状況の中でも、恵まれ、礼拝者として生きる事ができるように。
- ・人々の救いのために、良き証しができるように。
- ・JOY 保育園の守りと祝福、3月で6人が卒園、移動します。4月から6名以上、20人の子どもをあずかることができるように。
- ・放課後デイ (アニー) の祝福→10名の定員が早い段階で満たされるように。
- ・元気食堂→地域の良き証し、関係づくりに用いられるように。
- ・牧師、伝道師、スタッフの守り、祝福、成長、
- ・教会のビジョンが進められるように。300人のリーダー

JESUS FAMILY CHURCH は次世代を祝福する教会

【小さなお友だちを偉人に変えた人 Part4】

人類最初の飛行機を発明したライト兄弟の父ミルトン・ライトは牧師だった。父ミルトンは心が広く、親切で、教養も豊かな立派な人だった。牧師らしく信仰心が強く、規律正しい生活を重んじたが、むやみにそれを他人に押しつけるような人ではなかった。読書家で家にたくさん本を持っており、子供たちにも本を読むことをすすめ、その指導もした。お金の価値はよく知っていたが、だからといってお金を儲けて贅沢な暮らしをすることはちっとも望まなかった。「お金を儲けようとして、あくせくするのはくだらないことだ。お金持ちになるよりも、神様を敬い正しい生活をし、酒やタバコ、つまらない娯楽にふけらないことのほうがずっと立派で、価値のあることなのだ。」と、父はいつも子供たちに教えた。父の教えは、子供たちに大きな影響をあたえた。ライト兄弟は、自分たちの飛行機がすばらしい成功をおさめた後も、その発明からお金儲けを考えず、自慢したり偉ぶったりもせず、つましく、好きな研究にうちこむことばかりを願いとした。父の生活態度は、そのまま子供たちの生活態度でもあったのだ。父はまた、ライト兄弟の常に危険が伴う飛行機の研究にも大変理解があり、いつも彼らを励ました。「しかし、決して無理をするのではないよ。神様からさづけられた命は、大事にしなければいけない。」父の励ましといましめは、いつも兄弟たちの胸に生きていた。

“そして我々は、飛行機はきっと空を飛ぶと確信していた。”

“私たちは苦難によって多くを学び、そして逆境によって私たちの心はより良くされる。”

ライト兄弟 Wilbur & Orville Wright

祝福タイムズ

Annie の働きの感謝

牧師 財部利彦

現在、covid-19 (コロナウイルス) でまさかこんな状態までになるとは、、、という思いです。このような中で、命を懸けて仕事をし、わたし達を支えてくれている方々に感謝と敬意を表します。

私自身も小さいことですが、買い物をしたときに、レジの人に感謝と励ましの言葉をかけさせていただいています。心からの言葉には力があります。

放課後等デイサービス annie の働きもこのような事態の中ですが、続けます。皆様のお祈りに支えられ感謝です。

4月までに5名の利用者、家族が与えられるように祈り進めてきました。現時点で4名の登録利用者が起こされ、1名が申請待ちです。働きが守られ、進められていることを感謝します。

アニーでの個人的な感謝2つ。

1. 祈りとみことばで進めることができること。

アニーでは、始まる前にスタッフたちで、聖書の分かち合いと祈りをもって始めます。毎回、感謝と恵みがあり、始めることができていることができて幸いです。

2. お友だちにたくさん教えてもらえること。

彼らを通して、自分を磨かせていただいています。愛することを学ばせていただいています。どのように喜びを分かち合うことができるのかを学ばせています。

放課後等デイサービスの働きは、分からない事だらけでしたがここまで進み、この先もこの事態でどのように進むのかが未知数ですが、どんな中でも神さまが一步步導いてくださっていることを感じています。とても尊い働きをさせていただいていることを感謝しています。現実、私たちスタッフは、感染予防のために神経を使うので精神と体力も疲れが出ています。この働きが守られ、利用しているお友だちと家族に希望と愛を与える働きになること奇跡を体験する場所になること、携わっているスタッフのために祈っていただければ幸いです。